

会員全体講習会

会員全体講習会「NAPAC カンファレンス 2025」開催

**4月18日(金) /TKPガーデンシティ PREMIUM
浜松町 WTC annex**

当会第8期の会員全体講習会「NAPAC カンファレンス 2025」を4月18日(金)、東京・浜松町のTKPガーデンシティ PREMIUM 浜松町 WTC annex で開催し、会員 80社 120名(報道含、速報値)が参加致しました。

NAPAC カンファレンスは、当会並びに各認定基準の理解促進を図る各技術部会講習(第一部)、日々のビジネスに役立てて頂くことを目的にテーマ設定している特別講演(第二部)、会員相互の親睦を深める懇親会(第三部)からなるイベントで、今期で3回目の開催を数えました。前期まで東京と大阪の2会場での開催でしたが、効率化を図るべく今期より年1回の開催に移行。今期は東京開催となりました。

講習会では中嶋 NAPAC 会長の挨拶の後、ASEA 技術部会の萩原委員長が ASEA 基準制度と認定登録料の改定(年間税込12万円→税込6万円)について講義致しました。また(株)ホワイトシードの佐藤取締役営業本部長より「洗車の常識が、カスタムカーの美しさを損ねる？」と題した講義が行われました。

一方 JASMA 技術部会では、大館委員による「JASMA 基準と後付消音器の事前確認制度について」と題した講義が行われました。

第一部の最後は JAWA 技術部会による反復講習「ホイール発売元になることの責任の重要性について」(寺田委員長)、「サーベイランステストについて」(生松 JWTC サーベイランステスト委員長)の各講義が行われた後、田中 NAPAC 副会長より2024年度の JWTC サーベイランステスト NG ブランド・商品名の読み上げが行われました。

休憩を挟み行われた第二部の特別講習は、MS&AD インターリスク総研(株)の鶴田上席コンサルタントによる「日本とアメリカにおける製造物責任の概要と動向」と題した講義が行われ、規模や中身が全く違う日本とアメリカの PL 保険事情を分かりやすくレクチャーして頂き、海外市場で展開する際の留意点等についても学びました。

講義終了後の同一フロアの別会場で行われた懇親会は、鈴木 NAPAC 副会長の挨拶並びに乾杯で開宴し、和やかな雰囲気の中で親睦が深められました。



カンファレンスの冒頭で挨拶する中嶋会長(共豊コーポレーション)



講習会風景



萩原 ASEA 技術部会委員長(エンドレスアドバンス)



(株)ホワイトシード・佐藤取締役営業本部長



大館 JASMA 技術委員(ロッソ)



寺田 JAWA 技術部会委員長(エンケイ)



生松 JWTC サーベイランステスト委員長(トピー実業)



田中 NAPAC 副会長(ワーク)による JWTC サーベイランステスト NG ブランド・商品公表(会員のみ参加)



鶴田 彬上席コンサルタント(特別講演)



鈴木 NAPAC 副会長(藤壺技研工業)